第１学年　道徳学習指導案

１　主題名　　　つばさは心につけて

　　　　　　　　Ａ－（３）向上心、個性の伸長

　　　　　　　　資料：「明るい人生１年」（愛知県教育振興会）

２　主題設定の理由

本学級は、明るい生徒が多く友達に声をかけて積極的にかかわっていくことができる。また、教師のアドバイスなども素直に聞き改善していこうとすることもできている。しかし、学活などで自分の好きなことや嫌いなことなど、自分のことを伝える活動になると消極的になり、自分を表に出せない生徒が多く見られた。先日に行われた体育大会では、行事を成功させたいという思いは生徒と個別に話をすると感じられたのだが、自分を表現することに自信が持てず、仕事や声かけなどをだれかに任せてしまう場面が多く見られた。学校生活の中では、「わたしはあの子よりもダメだ。」「自分はいい所がない。」「自分のことは嫌いだ。」など、自分に対して自信がもてず消極的、否定的な考え方になり自己肯定感が低くなってしまうことが原因ではないかと考える。これは、自分自身の理想の姿と照らしたり、集団の中で他者と自分を比較したりする中で「今の自分」が足りていないと感じているためであると考える。これからの中学校生活を生き生きと自分に自信をもって生活していくためには、まず、ありのままの自分を受け入れることが大切であると考える。そして、中学校生活を通してその姿から自分の良さを見つけ出し伸ばしていこうとする気持ちをもってほしいと願っている。

指導項目のＡ－（３）は「向上心、個性の伸長」である。学校３年間での生活の中でありのままの自分を受け入れられるようになり、自分に自信をもって物事に積極的に取り組むことができるようになってほしい。個性は一人一人違ってそれが一人一人のよさにつながっていることに気づき、ありのままの自分自身を受け止め、自分のよさを感じることができるようになってほしいと願い本主題を設定した。

　本資料は、自分の体型にコンプレックスを感じている「わたし」。ダイエットなどで自分を変えようと試していたが自信がもてず、いつも周囲の目が気になっていた。しかし、文芸クラブの代表となったことで、自分の思いを言葉で表現することに楽しさや喜びを感じることができ、自分に自信がもてず、好きではなかった自分をありのままの姿で受け入れることができるようになった話である。中学生という時期は、他者と自分を比較し自分自身のことをありのまま受け入れることが難しいことがある。資料の「わたし」が悩み考えたことは、多くの生徒が共感できるだろう。そして、「わたし」が「心のつばさ」を手に入れたことによって自分自身を受け入れられるようになり、自分に自信をもって生活できるようになったことに気づいてほしい。

本時では、「わたし」が理想の自分との違いに思い悩む姿に注目させ、「わたし」の心情に深く寄り添わせる。そして、「心のつばさ」を見つけた「わたし」がありのままの自分を受け入れられるようになったことのすばらしさを感じさせたい。また、「わたし」が「ありのままの自分を受け入れる」ことができたのはなぜかを考えることによって、自分のよさに気付いたことによる「わたし」の変化を感じることができる。今回の授業を通して、ありのままの自分を受け入れ、自分の中にあるよさを考えることができるきっかけになってほしいと願う。また今後の合唱祭や文化祭などの行事を通して様々な体験をさせたいと思っている。その中で、自分に自信をもてる何かを見つけ、生き生きと生活してほしいと願っている。

１　本時の指導

　（１）ねらい

・ありのままの自分を受け入れ、よりよい生き方をしようとする気持ちを高める。

（２）準備

　　　教師…明るい人生1年「つばさは心につけて」

（３）学習過程　　　　　　　　　　　　　　　○学習活動　◇教師の支援　□留意点　◆評価

|  |
| --- |
| 学　習　活　動　と　教　師　の　支　援 |
| ○自分のいい所、悪い所をペアで話す。  嫌いな所  ・うるさい　　　　　　・自分勝手  ・片づけができない　　・勉強が苦手  ・優しくない　　　　　・根気がない  ・短気　　　　　　　　・ぼーっとしている  好きな所  ・明るい  ・人に優しい  ・走るのが得意  □自分のことをどう感じているのかを話すので、好きな所と嫌いな所、両方言わなくてもよい。  ○本資料の①までを読む  資料の掲示の部分を黒板に張り付ける。  「わたし」はどんな中学生だっただろう。  T:\職員用\Ｈ２８\０７職員\大場久司\大場道徳\道徳資料１（鏡の前のわたし）.jpg○「わたし」がどんな中学生だったのかを考える  ◇「わたし」が思い悩んでいる様子を共感するために、鏡の前で悩む「わたし」のイラストを掲示する。  ・太っている。  ・かわいく見られたいと思っている。  ・まわりの目が気にしている。  ・自分に自信がない。  ・やせようとしている。  ◆「わたし」に共感することができたか（発言・表情）  T:\職員用\Ｈ２８\０７職員\大場久司\大場道徳\道徳資料２（文芸クラブでの様子）.jpg  ◇「わたし」が暗い気持ちで生活していたことに注目させる  ○本資料の②の部分を読む。  　□「心のつばさ」を手に入れる前の私のとの違いに注目させる。  「自分」を受け入れるようになったのはなぜでしょう  ○「ありのままの自分」を受け入れるようになった理由を考える。  ◇ありのままの自分を受け入れた後の心情の変化にせまるため、それぞれの発言に対して、その理由を深く掘り下げる。  ・自分のことが好きになれたから。  ・自分に自信がもてたから。  ・自分の得意なことを見つけたから。  ・自分の思いを表現できるようになったから。  □自分を受け入れることができず、悩んでいる「わがむすめ」に注目させる。  友達が「わたし」と同じように悩んでいたどんな言葉をかけますか。  ○友達にかける言葉を考える。  ・嫌いなところもたくさんあると思うけど、あなただけのよさがきっとあるはずだよ。  ・今できることをまずは一生懸命にやってみなさい。  ・自分の好きな所を見つけて大切にしようね。  □自分に振り返って考えるために、母親の立場になって、「わがむすめ」へかける言葉を考える。  ◆ありのままの自分を受け入れ、よりよい生き方をしようとする気持ちが高まったか。（発言、ワークシート）  ○私たちの道徳ｐ３８「丸ごと私を好きになる」を読む  ○本時の感想を書く、感想を交流する |